

平成 19 年度厚生労働科学（食品の安心・安全確保推進）研究事業
「母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への
影響に関する研究」班

平成 19 年度母乳中のダイオキシン類調査 聞き取り調査票 (様式 3)

母乳採取時調査

母親氏名： _____

乳児氏名： _____

(様式 2 を取り外さなければ、氏名は様式 2 のみでよい)

1. 調査年月日 (本調査票記入年月日) : 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

2. 母乳採取状況

a. 母乳採取ができなかった

理由：転居，協力拒否，乳児の死亡，死産，母親の死亡

母乳の中止 (中止月日： _____ 月 _____ 日頃)

その他 (_____)

b. 母乳採取完了 (採取年月日：平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 日)

3. 出産後の母親の健康状況 (母乳が採取できなかった場合も記入する)

a. 疾患なし

b. 疾患あり (病名： _____)

4. 乳児の発育状況 (母乳が採取できなかった場合も記入する)

身体計測値 (出来るだけ直近のものを記入：計測月日 _____ 月 _____ 日)

体重： _____ g 身長： _____ cm

胸囲： _____ cm 頭囲： _____ cm

栄養方法： 母乳 1. 与えている → 1日 _____ 回

2. 与えていない

人工乳 1. 与えている → 1回 _____ ml × 1日 _____ 回

2. 与えていない

乳児健診受診 1. なし 2. あり a. 異常なし
b. 異常あり (指摘事項： _____)

疾患の有無 1. なし 2. あり (病名 _____)

乳幼児健康調査等へのご協力をお願い

昨年からの母乳中のダイオキシン類調査にご協力いただきありがとうございました。結果は我が国の母乳中のダイオキシン類の濃度を把握するための貴重な資料として利用させていただきます。

現在のところ、ダイオキシンが人体に与える影響についてはほとんどわかっていませんが、現在までの本研究班の結果ではダイオキシンによると考えられる乳幼児の健康への影響は認められず、WHO（世界保健機関）の専門家会合においても母乳の利点を含め総合的に検討し引き続き母乳の推進を図るべきであるとの見解が出されています。

しかし、母乳中のダイオキシン類の量を測定し、その影響や問題点を検討することは、今後のダイオキシン対策を進めていく上でも重要であることから、厚生労働省では関係都府県の協力のもとに、引き続き母乳中のダイオキシン類等に関する調査研究を行うことになっています。

つきましては、平成18年度の母乳中のダイオキシン類に関する調査にご協力いただいた方のお子様に健康チェックへのご協力をお願いしたいと存じます。

健康チェックの内容としては、生後12ヶ月時にお子さんから約4～9ml採血させていただき、甲状腺機能と免疫・アレルギー等の検査を行うとともに、発育・発達状態等の健康調査及び出生時の先天性代謝異常等検査の結果の確認を行うことを予定しております。これらの検査は、まとめて分析するため、調査結果がまとまったところでご希望の方には結果をお知らせいたします。

なお、本調査のすべての情報については、統計的に処理し個人名が出ることはなく、ご協力いただいた皆様へご迷惑をおかけすることはありません。

よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

厚生労働科学研究（食品の安心・安全確保推進）研究事業

「母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究」

主任研究者 多田 裕（東邦大学名誉教授）

分担研究者 中村 好一（自治医科大学教授）

分担研究者 近藤 直実（岐阜大学大学院教授）

分担研究者 板橋家頭夫（昭和大学教授）

分担研究者 岡 明（国立成育医療センター医長）

分担研究者 宇賀 直樹（東邦大学教授）

連絡先 県 部 課 担当
電話

同意書

厚生労働科学研究（食品の安心・安全確保推進）研究事業

「母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究」

主任研究者 多田 裕 殿
分担研究者 中村 好一 殿
分担研究者 近藤 直実 殿
分担研究者 板橋家頭夫 殿
分担研究者 岡 明 殿
分担研究者 宇賀 直樹 殿

私は貴殿の研究の主旨・内容を理解し、本研究の「乳幼児健康調査」に協力いたします。ただし、私の都合でこの研究協力を途中で辞退する場合があります。

また、先天性代謝異常等検査結果を本研究に使用することについて

1. 同意します。

(1. 2. のいずれかに○を付けて下さい。)

2. 同意しません。

記入年月日： 平成 年 月 日

住 所：

保護者氏名（自署）：

なお、調査結果の連絡を

1. 希望します。

(1. 2. のいずれかに○を付けて下さい。)

2. 希望しません。

乳幼児健康調査票 (1歳児用)

(都府県名)

母親氏名：
 乳幼児氏名： 性別：男・女 出生体重： g 出生順位：第 子
 生年月日： 年 月 日 (在胎 週 日または出産予定日 月 日)
 出生場所 (病院等の名称)：

I これまでにかかった病気：

II 現在までの発育・発達

1) 発育発達：

次のことが出来るようになったのはいつですか。

- | | | | | | |
|-----------|-----|---|-----------------|-----|---|
| (1) 首のすわり | ：生後 | 月 | (4) つかまり立ち | ：生後 | 月 |
| (2) 寝返り | ：生後 | 月 | (5) 伝い歩き | ：生後 | 月 |
| (3) お座り | ：生後 | 月 | (6) 一人歩き (2～3歩) | ：生後 | 月 |

2) 1歳の誕生日までに次の項目が出来れば○、出来なければ×、試みたことがなければ△をつけて下さい。

- | | | | |
|------------------------------------|----|---|----|
| (1) 「いけません」というと、ちょっと手をひっこめる。 | (○ | × | △) |
| (2) 「バイバイ」や「さよなら」に反応する。 | (○ | × | △) |
| (3) 「おいで」「ちょうだい」「ねんね」などを1つでも理解できる。 | (○ | × | △) |
| (4) 食物のことを「マンマ」という (他の有意義語でも良い)。 | (○ | × | △) |
| (5) ブラシ、鉛筆などを使うまねをする。 | (○ | × | △) |

III これまでの栄養状態を教えてください。

1) ほ乳方法はどうか。次の番号をカッコ内に入れて下さい。

- | | | |
|--------------|--------------|---------------------|
| 1. 母乳のみ | 2. 混合 (母乳が主) | 3. 混合 (母乳とミルクがほぼ等量) |
| 4. 混合 (人工が主) | 5. 人工栄養のみ | |
| 生後1ヶ月未満 | (ほ乳方法) | 6～7ヶ月未満 (ほ乳方法) |
| 1～2ヶ月 " | (ほ乳方法) | 7～8ヶ月 " (ほ乳方法) |
| 2～3ヶ月 " | (ほ乳方法) | 8～9ヶ月 " (ほ乳方法) |
| 3～4ヶ月 " | (ほ乳方法) | 9～10ヶ月 " (ほ乳方法) |
| 4～5ヶ月 " | (ほ乳方法) | 10～11ヶ月 " (ほ乳方法) |
| 5～6ヶ月 " | (ほ乳方法) | 11～12ヶ月 " (ほ乳方法) |

IV 予防接種の接種状況を母子健康手帳から書き写して下さい。

予防接種の種類	接種月日
---------	------

注意事項：調査予定日から2週間前以内に37.5℃以上の発熱や風邪をひいた場合又は予防接種を受けた場合には、必ず、下記までご連絡下さい。発熱や風邪が治りかつ予防接種日から2週間以上経過した日に調査日の変更を行います。
 ：母子健康手帳を忘れずにご持参下さい。

連絡先

TEL

第2(3)子の母乳採取時の第1(2)子の栄養および健康調査票

都府県名()

母親氏名: 連絡先: TEL

第1(2)子氏名: 性別: 男・女 出生体重: g
 生年月日: 年 月 日 (在胎 週 日または出産予定日 月 日)

第2(3)子氏名: 性別: 男・女 出生体重: g
 生年月日: 年 月 日 (在胎 週 日または出産予定日 月 日)

第1(2)子(まえのお子さん)についてお尋ねします:

I これまでに重い病気にかかったことがありますか : ある ない
 あった場合の病名:

II アレルギー疾患があるといわれたことがありますか : ある ない
 あった場合の病名:

III 現在までの発育・発達

1) 身体発育(1歳近くでの測定日の月齢と測定値を記入して下さい): 測定日(生後 月 日)
 体重 g 身長 cm 頭囲 cm 胸囲 cm

2) 運動発達:

次のことが出来るようになったのはいつですか。

(1) 首のすわり : 生後 月 (4) つかまり立ち : 生後 月
 (2) 寝返り : 生後 月 (5) 伝い歩き : 生後 月
 (3) お座り : 生後 月 (6) 一人歩き(2~3歩) : 生後 月

3) 1歳の誕生日までに次の項目が出来ていたら○、出来なければ×、記憶に無ければ△を○で囲んで下さい。

(1) 「いけません」というと、ちょっと手をひっこめる。 (○ × △)
 (2) 「バイバイ」や「さよなら」に反応する。 (○ × △)
 (3) 「おいで」「ちょうだい」「ねんね」などを1つでも理解できる。 (○ × △)
 (4) 食物のことを「マンマ」という(他の有意義語でも良い)。 (○ × △)
 (5) ブラシ、鉛筆などを使うまねをする。 (○ × △)

III 1歳までの栄養状態を教えてください。

ほ乳方法はどうか。次の番号をカッコ内に入れて下さい。

1. 母乳のみ 2. 混合(母乳が主) 3. 混合(母乳とミルクがほぼ等量)
 4. 混合(人工が主) 5. 人工栄養のみ

生後1ヶ月未満	(ほ乳方法)	6~7ヶ月未満	(ほ乳方法)
1~2ヶ月 "	(ほ乳方法)	7~8ヶ月 "	(ほ乳方法)
2~3ヶ月 "	(ほ乳方法)	8~9ヶ月 "	(ほ乳方法)
3~4ヶ月 "	(ほ乳方法)	9~10ヶ月 "	(ほ乳方法)
4~5ヶ月 "	(ほ乳方法)	10~11ヶ月 "	(ほ乳方法)
5~6ヶ月 "	(ほ乳方法)	11~12ヶ月 "	(ほ乳方法)

(第2子以降の母乳採取に協力が得られた場合で前児が当研究班の1歳時乳幼児健康診査を受診しなかった場合に記入して下さい)

乳幼児健康調査結果のご報告

昨年からの母乳中のダイオキシン類調査に引き続き、このたびは血液検査等の「乳幼児健康調査」にご協力いただきありがとうございました。

今回行った、免疫・アレルギー・甲状腺機能の検査結果をご報告させていただきます。

この調査については、今後とりまとめを行い、わが国の母乳中のダイオキシン類の濃度が乳幼児に与える健康影響の有無を把握するための貴重な資料とさせていただきます。

本調査のすべての情報について個人名が出ることはなく、統計的に処理されますので、ご協力いただいた皆様へご迷惑をおかけすることはないことを申し添えます。なお別添の個人の検査結果はあなたと採血をお願いした病院にのみお知らせしております。

個人票の内容は次の通りです。

1. TSH, T3, T4、遊離サイロキシンは甲状腺機能の検査です。
(すべての方が正常範囲内でした。)
2. IgG、IgA、IgMは免疫物質（免疫グロブリン）の量を示します。
(すべての方が正常範囲内でした。)
3. IgE (RIST) はアレルギーなどの時に増加するグロブリンです。
4. 牛乳、卵白、ダニ、小麦などはアレルギーの指標です。

これらの値がクラス0は陰性、1は擬陽性、2以上は陽性と判断され、陽性の場合にはこれらの物質に感作されている恐れがあります。

アレルギー疾患や上記の検査結果についてご心配の方は主治医に相談されるか、下記の研究班員までお問い合わせ下さい。

平成 年 月

厚生労働科学研究（食品の安心・安全確保推進）研究事業

「母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究」

多田 裕 東邦大学医学部名誉教授

II. 分担研究報告

母乳中ダイオキシン類レベルと母体及び出生児の関連要因 -1998-2006年データ-

分担研究者 中村好一（自治医科大学公衆衛生学 教授）

日本人一般集団において、母乳中のダイオキシン類レベルと母体および児の要因について観察した。1998年から2006年までに母乳中ダイオキシン類濃度が測定されていた953人の初産婦について、母体の基本属性、妊娠前1年の動物性脂肪摂取状況および妊娠分娩経過などをダイオキシン類全体のレベルを4区分して観察した。母乳提供者から出生した児の出生児の体格および早期新生児期の状況、生後1か月時の体格などについても観察をおこなった。ダイオキシンレベルが高い群で母親の年齢が高く、習慣的喫煙のない割合が大きかった。また、ダイオキシンレベルの高い群では、最寄りの廃棄物処理場からの直線距離が近い傾向にあり、妊娠合併症の頻度がやや高い傾向にあった。さらには、ダイオキシンレベルが21 pg TEQ/g fat以上の群では、それ未満の群に比べ、生後1か月時の体重が小さい傾向にあった。母乳中ダイオキシンの全体のレベルが高い母体では、年齢が高く、習慣的喫煙のない割合が高いことが再確認された。ダイオキシンレベルとの関連が疑われるその他の要因に関して、今後詳細な解析を加えて明らかにしていく必要がある。

研究協力者

上原里程 自治医科大学公衆衛生学
准教授

A. 研究目的

母体のダイオキシン類が乳幼児の成長発達にどのような健康影響を与えるのかということは引き続き社会の関心事である。

これまでに、厚生労働科学研究「母乳中のダイオキシン類と乳児への影響に関する研究」および「ダイオキシンの乳幼児への

影響その他の汚染実態の解明に関する研究」を通じて、母乳中ダイオキシン類レベルは母親側の因子として年齢、出産順位、喫煙状況が関連することを示してきた。本研究では、さらに対象人数を増やし、再度母乳中ダイオキシン類レベルと関連すると考えられる母体因子について観察した。加えて、母乳中ダイオキシン類が出生児に与える影響を検討する際の基礎資料とするために、出生時と生後1か月時の成長などに関する因子についても観察した。

B. 研究方法

1998年から2006年まで6府県（岩手、千葉、新潟、石川、大阪、島根。1998年のみ19府県）の初産婦から生後30日目の母乳を約50ml採取し、同時に妊娠・分娩の経過と出生時の児の状況を保健師が聞き取った。母乳中ダイオキシン類はPCDDs7種、PCDFs10種およびCo-PCBs12種を同一施設のGC/MSで測定し、脂肪1gあたりの毒性等量(TEQ)で示した。

母乳中ダイオキシン類レベルは、初産婦と経産婦でその分布が異なるため、本研究では初産婦に限定して観察した。母乳中ダイオキシン類濃度が測定されていた953人の初産婦について、ダイオキシン類全体（total dioxins: PCDDs+PCDFs+Co-PCBs）のTEQを四分位で分け（25パーセンタイル値=17、中央値=22、75パーセンタイル値28）、母体の基本属性、妊娠前1年の動物性脂肪摂取状況および妊娠分娩経過などについて観察した。同様に母乳提供者から出生した児の出生児の体格および早期新生児期の状況について観察した。生後1か月時の体格などについては、児の身体計測日が生後30±10日である例に限定し、同様の観察をおこなった（n=862, total dioxinsの25パーセンタイル値=17、中央値=21、75パーセンタイル値=28）。母体および児の因子が連続変数の場合は平均値、標準偏差、最小値、最大値を示し、離散変数の場合は頻度を示した。

なお、倫理面への配慮として、個人情報を除いて匿名化したデータベースを用いて解析した。

C. 研究結果

初産婦953人の基本属性について表1から表10までに示した。これまでの研究と同様に、ダイオキシンレベルが高い群で母親の年齢が高く、習慣的喫煙のない割合が大きかった。その他、ダイオキシンレベルの高い群では、最寄りの廃棄物処理場からの直線距離が近い傾向にあった。母親の動物性脂肪摂取食品については表11から表56までに示した。個々の食品からの脂肪摂取量については明らかな関連は認めず、動物性脂肪全体についても、total dioxinsが22 pg TEQ/g fat以上の群ではそれ未満の群より摂取量が多いという傾向が観察されるにとどまった。母親の妊娠分娩経過については表57から表61に、出生した児の体格や異常の有無などについては表62から表70までに示した。ダイオキシンレベルが最も高い群で、妊娠合併症の頻度がやや高い傾向にあった。出生時の体格とは関連がなかったが、ダイオキシンレベルが22 pg TEQ/g fat以上の群では、早期新生児の異常のある割合がやや高い傾向にあった。生後1か月時の児の体格などについては表71から表79までに示した。ダイオキシンレベルが21 pg TEQ/g fat以上の群では、それ未満の群に比べ、乳児の体重が小さい傾向にあった。

D. 考察

母乳中のダイオキシン全体のレベルが高い母体では、年齢が高いこと、および習慣的喫煙のない割合が高いことが再確認された。一方、最寄りの廃棄物処理場からの直線距離が近い傾向が観察されたが、直線距離の分布や居住期間を考慮して判断する必要があるだろう。同様に、妊娠合併

症の頻度や早期新生児の異常の頻度がやや高い傾向が観察されたが、母体の年齢、喫煙状況などを考慮して判断する必要がある。生後1か月時の児の体重についても母親の年齢、体重、喫煙歴、哺乳状況を考慮する必要がある。これらの因子は、観察対象者が増えたことにより、ダイオキシンレベルとの関連が検出されやすくなった可能性がある。今後はこれらのダイオキシンレベルとの関連が疑われる要因に関して、詳細な解析を加えて明らかにしていくことが課題であろう。

E. 結論

1. 母乳中ダイオキシンの全体のレベルが高い母体では、年齢が高く、習慣的喫煙のない割合が高いことが再確認された。

2. 母乳中ダイオキシンレベルと最寄りの廃棄物処理場からの距離、妊娠合併症および早期新生児の異常の頻度、そして生後1か月時の体重との関連について明らかにするために、詳細な解析が必要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母年齢

	母年齢		標準偏差	最小値	最大値
	N	平均			
Q1(17未満)	221	28.6	2.6	25	35
Q2(17以上22未満)	251	29.0	2.8	24	35
Q3(22以上28未満)	237	29.3	2.6	24	35
Q4(28以上)	240	30.1	2.6	24	36

表2 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母身長

	母身長		標準偏差	最小値	最大値
	N	平均			
Q1(17未満)	221	158.2	5.4	141	170
Q2(17以上22未満)	251	158.3	5.2	146	174
Q3(22以上28未満)	237	158.0	5.0	140	175
Q4(28以上)	240	157.9	5.6	145	175

表3 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母体重

	母体重		標準偏差	最小値	最大値
	N	平均			
Q1(17未満)	221	52.4	8.3	38	90
Q2(17以上22未満)	251	52.7	7.9	39	96
Q3(22以上28未満)	236	51.7	7.7	37.5	92
Q4(28以上)	239	51.5	6.8	38	89

表4 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母BMI

	母BMI		標準偏差	最小値	最大値
	N	平均			
Q1(17未満)	221	20.9	2.9	16.4	35.0
Q2(17以上22未満)	251	21.0	2.9	16.6	36.1
Q3(22以上28未満)	236	20.7	2.7	16.0	36.2
Q4(28以上)	239	20.7	2.4	16.2	33.5

表5 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母居住期間(年)

	居住期間(年)		標準偏差	最小値	最大値
	N	平均			
Q1(17未満)	91	3.5	7.5	0	31
Q2(17以上22未満)	115	3.1	6.0	0	30
Q3(22以上28未満)	109	4.1	7.4	0	34
Q4(28以上)	89	5.1	9.0	0	32

表6 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と最寄りの廃棄物処理場からの直線距離(km)

	最寄りの廃棄物処理場からの直線距離(km)		標準偏差	最小値	最大値
	N	平均			
Q1(17未満)	131	4.7	3.2	0.2	14.4
Q2(17以上22未満)	176	4.7	3.3	0.7	15.8
Q3(22以上28未満)	190	4.3	2.8	0.0	14
Q4(28以上)	205	4.0	3.1	0.3	20

表7 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母つわり

	つわり				合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	
ほとんどない	77 (35%)	93 (38%)	89 (38%)	76 (32%)	335 (36%)
軽度	68 (31%)	83 (34%)	77 (33%)	79 (33%)	307 (33%)
中等度	63 (29%)	61 (25%)	56 (24%)	64 (27%)	244 (26%)
重度	12 (5%)	10 (4%)	14 (6%)	20 (8%)	56 (6%)
合計	220 (100%)	247 (100%)	236 (100%)	239 (100%)	942 (100%)

欠損値の度数 = 11

表8 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母出生順位

母 出生順位	出生順位				合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	
1	110 (50%)	135 (54%)	126 (53%)	113 (47%)	484 (51%)
2	73 (33%)	83 (33%)	83 (35%)	103 (43%)	342 (36%)
3	30 (14%)	28 (11%)	22 (9%)	20 (8%)	100 (11%)
4	3 (1%)	3 (1%)	5 (2%)	2 (1%)	13 (1%)
5	1 (0.5%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.4%)	2 (0.2%)
6	3 (1%)	1 (0.4%)	0 (0%)	1 (0.4%)	5 (1%)
合計	220 (100%)	250 (100%)	236 (100%)	240 (100%)	946 (100%)

欠損値の度数 = 7

表9 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母が乳児期の栄養

母 乳児期の栄養	栄養				合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	
母乳のみ	79 (37%)	81 (34%)	81 (35%)	84 (36%)	325 (35%)
混合栄養	91 (42%)	106 (44%)	103 (45%)	99 (42%)	399 (43%)
ミルクのみ	45 (21%)	54 (22%)	45 (20%)	51 (22%)	195 (21%)
不明	1 (0.5%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.1%)
合計	216 (100%)	241 (100%)	229 (100%)	234 (100%)	920 (100%)

欠損値の度数 = 33

表10 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と母の喫煙歴

母 喫煙歴	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	合計
習慣的喫煙なし	94 (55%)	134 (61%)	181 (81%)	188 (80%)	597 (70%)
現在喫煙中	11 (6%)	12 (6%)	5 (2%)	5 (2%)	33 (4%)
今回の妊娠のためにやめた	49 (28%)	53 (24%)	22 (10%)	27 (11%)	151 (18%)
今回の妊娠以前にやめた	18 (10%)	19 (9%)	16 (7%)	16 (7%)	69 (8%)
合計	172 (100%)	218 (100%)	224 (100%)	236 (100%)	850 (100%)

欠損値の度数 = 103

表11 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	牛ステーキ				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	158	0.9	0.9	0.0	5.3
Q2(17以上22未満)	210	0.9	0.8	0.0	2.7
Q3(22以上28未満)	221	1.0	1.1	0.0	6.2
Q4(28以上)	233	1.0	1.2	0.0	8.0

表12 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	牛焼き物				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	168	2.0	2.1	0.0	13.3
Q2(17以上22未満)	218	1.9	1.8	0.0	12.7
Q3(22以上28未満)	225	2.1	2.4	0.0	19.9
Q4(28以上)	234	1.9	2.3	0.0	19.9

表13 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	牛煮込み				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	162	0.6	0.7	0.0	6.3
Q2(17以上22未満)	216	0.6	0.7	0.0	6.3
Q3(22以上28未満)	222	0.7	0.8	0.0	6.3
Q4(28以上)	230	0.7	1.0	0.0	9.9

表14 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	牛肉小計				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	3.3	2.6	0.0	13.6
Q2(17以上22未満)	220	3.4	2.5	0.0	14.5
Q3(22以上28未満)	226	3.7	3.3	0.0	23.4
Q4(28以上)	236	3.6	3.1	0.0	21.6

表15 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	豚炒め物				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	5.3	4.6	0.0	27.1
Q2(17以上22未満)	219	4.8	3.9	0.0	27.1
Q3(22以上28未満)	225	4.9	4.3	0.0	27.1
Q4(28以上)	233	5.2	4.5	0.0	27.1

表16 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	豚揚げ物				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	166	2.5	2.4	0.0	13.8
Q2(17以上22未満)	216	2.2	2.1	0.0	20.6
Q3(22以上28未満)	225	2.1	2.2	0.0	20.6
Q4(28以上)	233	2.1	1.8	0.0	13.8

表17 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	豚煮込み				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	167	0.8	0.8	0.0	4.5
Q2(17以上22未満)	217	0.7	0.7	0.0	2.9
Q3(22以上28未満)	222	0.7	0.7	0.0	2.9
Q4(28以上)	233	0.7	0.9	0.0	6.8

表18 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	豚煮物				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	163	1.1	1.3	0.0	7.4
Q2(17以上22未満)	213	1.2	2.0	0.0	17.3
Q3(22以上28未満)	222	1.2	1.6	0.0	7.4
Q4(28以上)	232	1.4	2.3	0.0	17.3

表19 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	豚汁物				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	167	1.4	1.6	0.0	11.9
Q2(17以上22未満)	216	1.4	1.9	0.0	15.9
Q3(22以上28未満)	225	1.3	1.4	0.0	8.0
Q4(28以上)	234	1.3	1.3	0.0	8.0

表20 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

豚レバー					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	159	0.0	0.1	0.0	1.1
Q2(17以上22未満)	210	0.0	0.1	0.0	0.4
Q3(22以上28未満)	219	0.1	0.1	0.0	0.7
Q4(28以上)	231	0.0	0.1	0.0	0.4

表21 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

豚肉小計					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	10.9	6.8	0.0	35.5
Q2(17以上22未満)	220	10.3	6.9	0.0	50.2
Q3(22以上28未満)	226	10.2	6.9	0.0	51.8
Q4(28以上)	236	10.7	6.9	0.0	38.0

表22 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

鳥焼き物					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	169	0.8	0.8	0.0	3.3
Q2(17以上22未満)	215	1.0	1.2	0.0	12.0
Q3(22以上28未満)	226	1.0	1.0	0.0	7.7
Q4(28以上)	235	1.0	1.1	0.0	7.7

表23 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

鳥揚げ物					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	169	0.8	0.7	0.0	4.7
Q2(17以上22未満)	217	0.8	0.8	0.0	7.3
Q3(22以上28未満)	225	0.7	0.6	0.0	3.1
Q4(28以上)	234	0.8	0.7	0.0	4.7

表24 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

鳥レバー					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	160	0.01	0.03	0.00	0.29
Q2(17以上22未満)	212	0.03	0.08	0.00	1.06
Q3(22以上28未満)	220	0.03	0.07	0.00	0.71
Q4(28以上)	229	0.04	0.07	0.00	0.29

表25 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

鶏肉小計					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	1.6	1.3	0.0	6.8
Q2(17以上22未満)	220	1.8	1.8	0.0	16.2
Q3(22以上28未満)	226	1.7	1.4	0.0	10.8
Q4(28以上)	236	1.8	1.4	0.0	9.6

表26 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

ロースハム					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	168	0.39	0.41	0.00	2.48
Q2(17以上22未満)	217	0.38	0.44	0.00	2.10
Q3(22以上28未満)	225	0.43	0.50	0.00	3.15
Q4(28以上)	234	0.43	0.45	0.00	2.48

表27 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

ウィンナー					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	170	1.7	1.5	0.0	7.4
Q2(17以上22未満)	219	1.5	1.4	0.0	8.7
Q3(22以上28未満)	226	1.5	1.3	0.0	7.4
Q4(28以上)	235	1.8	1.7	0.0	8.7

表28 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

ベーコン					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	168	1.10	1.18	0.00	5.85
Q2(17以上22未満)	214	1.15	1.16	0.00	5.85
Q3(22以上28未満)	223	1.11	1.14	0.00	5.85
Q4(28以上)	234	1.14	1.19	0.00	6.13

表29 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

ランチョン					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	155	0.19	0.69	0.00	5.70
Q2(17以上22未満)	205	0.11	0.49	0.00	5.70
Q3(22以上28未満)	216	0.06	0.24	0.00	2.44
Q4(28以上)	226	0.04	0.20	0.00	2.44

表30 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

牛乳					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	170	5.6	7.9	0.0	67.2
Q2(17以上22未満)	219	5.4	6.9	0.0	32.0
Q3(22以上28未満)	226	6.9	8.4	0.0	48.0
Q4(28以上)	234	7.1	8.5	0.0	67.2

表31 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

卵					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	3.7	3.2	0.0	28.0
Q2(17以上22未満)	219	3.3	2.4	0.0	21.0
Q3(22以上28未満)	226	4.2	4.7	0.0	39.2
Q4(28以上)	234	3.7	3.5	0.0	39.2

表32 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

チーズ					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	168	1.0	1.3	0.0	7.8
Q2(17以上22未満)	218	1.2	1.6	0.0	7.8
Q3(22以上28未満)	225	1.3	1.5	0.0	7.8
Q4(28以上)	234	1.3	1.5	0.0	7.8

表33 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

ヨーグルト					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	169	1.3	1.4	0.0	9.0
Q2(17以上22未満)	218	1.3	1.5	0.0	13.5
Q3(22以上28未満)	225	1.8	3.0	0.0	37.8
Q4(28以上)	235	1.6	1.6	0.0	13.5

表34 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

その他小計					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	14.7	11.1	0.4	101.5
Q2(17以上22未満)	220	14.4	9.1	1.6	59.9
Q3(22以上28未満)	226	17.3	12.5	1.4	95.6
Q4(28以上)	236	17.0	11.4	0.0	114.4

表35 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

乳肉類合計					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	30.6	15.1	1.3	118.4
Q2(17以上22未満)	220	29.8	14.2	5.0	102.8
Q3(22以上28未満)	226	32.9	16.7	7.9	117.5
Q4(28以上)	236	33.1	15.7	0.0	134.2

表36 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

塩たら					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	171	0.32	0.33	0.00	1.89
Q2(17以上22未満)	215	0.33	0.36	0.00	2.40
Q3(22以上28未満)	225	0.36	0.43	0.00	2.83
Q4(28以上)	235	0.29	0.29	0.00	1.89

表37 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

ひもの					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	168	0.30	0.35	0.00	2.67
Q2(17以上22未満)	213	0.29	0.33	0.00	1.70
Q3(22以上28未満)	223	0.38	0.44	0.00	4.01
Q4(28以上)	232	0.33	0.32	0.00	1.70

表38 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

まぐろ					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	166	0.49	0.53	0.00	2.93
Q2(17以上22未満)	217	0.42	0.45	0.00	2.93
Q3(22以上28未満)	225	0.43	0.42	0.00	1.95
Q4(28以上)	233	0.45	0.54	0.00	3.07

表39 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

さけ					
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	167	0.52	0.64	0.00	4.64
Q2(17以上22未満)	218	0.44	0.45	0.00	2.95
Q3(22以上28未満)	225	0.52	0.62	0.00	4.43
Q4(28以上)	236	0.47	0.57	0.00	4.64

表40 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	かつお				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	167	0.07	0.07	0.00	0.40
Q2(17以上22未満)	218	0.07	0.07	0.00	0.60
Q3(22以上28未満)	221	0.08	0.09	0.00	0.60
Q4(28以上)	235	0.08	0.08	0.00	0.40

表41 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	たら				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	166	0.03	0.03	0.00	0.13
Q2(17以上22未満)	217	0.02	0.03	0.00	0.13
Q3(22以上28未満)	224	0.03	0.03	0.00	0.20
Q4(28以上)	233	0.03	0.03	0.00	0.20

表42 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	たい				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	160	0.05	0.09	0.00	0.51
Q2(17以上22未満)	211	0.06	0.09	0.00	0.51
Q3(22以上28未満)	219	0.09	0.11	0.00	0.77
Q4(28以上)	231	0.09	0.10	0.00	0.51

表43 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	あじ				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	165	0.5	0.7	0.0	6.2
Q2(17以上22未満)	212	0.6	0.8	0.0	6.2
Q3(22以上28未満)	223	0.8	0.9	0.0	6.2
Q4(28以上)	233	0.8	0.8	0.0	6.2

表44 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	さんま				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	170	1.3	1.3	0.0	9.8
Q2(17以上22未満)	219	1.2	1.2	0.0	6.6
Q3(22以上28未満)	226	1.3	1.3	0.0	9.8
Q4(28以上)	234	1.4	1.1	0.0	6.6

表45 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	しらすぼし				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	163	0.02	0.03	0.00	0.24
Q2(17以上22未満)	217	0.02	0.03	0.00	0.24
Q3(22以上28未満)	221	0.02	0.04	0.00	0.30
Q4(28以上)	233	0.03	0.04	0.00	0.24

表46 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	たらこ				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	169	0.13	0.22	0.00	1.65
Q2(17以上22未満)	218	0.14	0.20	0.00	1.05
Q3(22以上28未満)	223	0.12	0.19	0.00	2.10
Q4(28以上)	232	0.13	0.21	0.00	2.10

表47 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	うなぎ				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	162	0.3	0.4	0.0	1.2
Q2(17以上22未満)	210	0.4	0.5	0.0	3.9
Q3(22以上28未満)	223	0.6	0.5	0.0	2.6
Q4(28以上)	233	0.6	0.5	0.0	3.9

表48 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	いか				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	163	0.04	0.06	0.00	0.39
Q2(17以上22未満)	216	0.04	0.03	0.00	0.16
Q3(22以上28未満)	224	0.05	0.06	0.00	0.75
Q4(28以上)	234	0.04	0.04	0.00	0.38

表49 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	たこ				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	162	0.019	0.022	0.000	0.128
Q2(17以上22未満)	213	0.020	0.025	0.000	0.128
Q3(22以上28未満)	224	0.019	0.022	0.000	0.200
Q4(28以上)	233	0.021	0.021	0.000	0.128

表50 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	えび				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	164	0.024	0.025	0.000	0.225
Q2(17以上22未満)	218	0.025	0.024	0.000	0.225
Q3(22以上28未満)	223	0.028	0.029	0.000	0.225
Q4(28以上)	233	0.022	0.021	0.000	0.150

表51 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	あさり				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	167	0.015	0.015	0.000	0.100
Q2(17以上22未満)	218	0.019	0.022	0.000	0.200
Q3(22以上28未満)	226	0.019	0.018	0.000	0.100
Q4(28以上)	235	0.020	0.022	0.000	0.236

表52 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	たにし				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	155	0.00013	0.00119	0.00000	0.01334
Q2(17以上22未満)	204	0.00007	0.00093	0.00000	0.01334
Q3(22以上28未満)	218	0.00012	0.00127	0.00000	0.01334
Q4(28以上)	228	0.00006	0.00088	0.00000	0.01334

表53 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	ちくわ				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	167	0.040	0.048	0.000	0.300
Q2(17以上22未満)	214	0.038	0.047	0.000	0.300
Q3(22以上28未満)	225	0.038	0.038	0.000	0.200
Q4(28以上)	233	0.046	0.064	0.000	0.600

表54 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	かまぼこ				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	163	0.013	0.018	0.000	0.100
Q2(17以上22未満)	211	0.013	0.019	0.000	0.150
Q3(22以上28未満)	224	0.015	0.020	0.000	0.150
Q4(28以上)	231	0.014	0.019	0.000	0.150

表55 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	魚介類合計				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	4.2	2.4	0.7	19.5
Q2(17以上22未満)	220	4.1	2.4	0.0	16.6
Q3(22以上28未満)	226	4.8	3.3	0.2	27.7
Q4(28以上)	236	4.7	2.5	0.0	15.1

表56 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と動物性脂肪摂取食品(脂肪g)

	動物性脂肪合計				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	172	34.7	15.7	4.0	122.5
Q2(17以上22未満)	220	33.9	15.4	9.6	112.6
Q3(22以上28未満)	226	37.7	17.7	9.7	119.6
Q4(28以上)	236	37.8	16.6	0.0	140.9

表57 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と在胎期間

	在胎期間(日)				最小値	最大値
	N	平均	標準偏差			
Q1(17未満)	221	278	9		242	296
Q2(17以上22未満)	251	278	8		237	294
Q3(22以上28未満)	237	277	9		249	296
Q4(28以上)	240	278	10		216	298

表58 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と分娩体位

分娩体位					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	
頭位	210 (96%)	238 (95%)	222 (94%)	225 (95%)	895 (95%)
骨盤位	6 (3%)	10 (4%)	12 (5%)	12 (5%)	40 (4%)
その他	2 (1%)	2 (1%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	6 (0.6%)
合計	218 (100%)	250 (100%)	235 (100%)	238 (100%)	941 (100%)

欠損値の度数 = 12

表59 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と帝王切開

帝王切開					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	
なし	194 (89%)	216 (86%)	195 (82%)	203 (85%)	808 (86%)
あり	25 (11%)	34 (14%)	42 (18%)	35 (15%)	136 (14%)
合計	219 (100%)	250 (100%)	237 (100%)	238 (100%)	944 (100%)

欠損値の度数 = 9

表60 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と妊娠合併症

妊娠合併症					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	
なし	200 (91%)	228 (92%)	215 (91%)	208 (87%)	851 (91%)
あり	19 (9%)	19 (8%)	20 (9%)	30 (13%)	88 (9%)
合計	219 (100%)	247 (100%)	235 (100%)	238 (100%)	939 (100%)

欠損値の度数 = 14

表61 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と出産後の母親の健康

出産後の母親の健康					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	
疾患なし	205 (94%)	242 (96%)	224 (95%)	223 (93%)	894 (94%)
疾患あり	14 (6%)	9 (4%)	13 (5%)	17 (7%)	53 (6%)
合計	219 (100%)	251 (100%)	237 (100%)	240 (100%)	947 (100%)

欠損値の度数 = 6

表62 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と乳児性別

乳児 性別					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	
男	109 (49%)	136 (54%)	121 (52%)	121 (50%)	487 (52%)
女	112 (51%)	114 (46%)	113 (48%)	119 (50%)	458 (48%)
合計	221 (100%)	250 (100%)	234 (100%)	240 (100%)	945 (100%)

欠損値の度数 = 8

表63 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と出生時体重

	出生時体重				最小値	最大値
	N	平均	標準偏差			
Q1(17未満)	221	3075	388		1758	4330
Q2(17以上22未満)	251	3078	391		1344	4130
Q3(22以上28未満)	237	2991	382		1456	4040
Q4(28以上)	240	3043	387		1830	4090

表64 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と出生時身長

	出生時身長				最小値	最大値
	N	平均	標準偏差			
Q1(17未満)	221	49.2	2.1		42	56.5
Q2(17以上22未満)	251	49.2	2.1		37	54.2
Q3(22以上28未満)	237	48.9	2.0		39.5	55
Q4(28以上)	238	49.2	2.1		42.3	54

表65 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と出生時胸囲

	出生時胸囲				最小値	最大値
	N	平均	標準偏差			
Q1(17未満)	221	31.9	1.6		27	36
Q2(17以上22未満)	251	31.9	1.6		24	36
Q3(22以上28未満)	236	31.7	1.8		24	38.5
Q4(28以上)	239	31.7	1.6		26	36

表66 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と出生時期別

	出生時期別				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	221	32.9	1.3	29.5	36.5
Q2(17以上22未満)	251	32.9	1.4	27.5	37.2
Q3(22以上28未満)	236	33.0	1.5	28	36.5
Q4(28以上)	239	33.2	1.5	29.5	38

表67 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と新生児仮死

新生児仮死	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	合計
なし	215 (99%)	235 (96%)	227 (97%)	226 (95%)	903 (96%)
あり	3 (1%)	11 (4%)	7 (3%)	12 (5%)	33 (4%)
合計	218 (100%)	246 (100%)	234 (100%)	238 (100%)	936 (100%)

欠損値の度数 = 17

表68 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と早期新生児の異常

早期新生児の異常	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	合計
なし	199 (91%)	233 (93%)	207 (87%)	215 (90%)	854 (90%)
あり	20 (9%)	17 (7%)	30 (13%)	25 (10%)	92 (10%)
合計	219 (100%)	250 (100%)	237 (100%)	240 (100%)	946 (100%)

欠損値の度数 = 7

表69 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と代謝異常検査実施

代謝異常検査実施	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	合計
未実施	4 (2%)	7 (3%)	2 (1%)	1 (0.4%)	14 (1%)
実施済み	212 (98%)	239 (97%)	232 (99%)	236 (99.6%)	919 (99%)
合計	216 (100%)	246 (100%)	234 (100%)	237 (100%)	933 (100%)

欠損値の度数 = 20

表70 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と代謝異常検査結果

代謝異常検査結果	Q1(17未満)	Q2(17以上22未満)	Q3(22以上28未満)	Q4(28以上)	合計
異常なし	196 (100%)	221 (99%)	210 (100%)	208 (99%)	835 (99%)
要再検査	0 (0%)	2 (1%)	0 (0%)	2 (1%)	4 (1%)
合計	196 (100%)	223 (100%)	210 (100%)	210 (100%)	839 (100%)

欠損値の度数 = 114

表71 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と生後1か月時の体格

	生後1か月時の体重				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	205	4225	538	2806	6880
Q2(17以上21未満)	179	4199	497	2835	5396
Q3(21以上28未満)	258	4061	503	2366	5455
Q4(28以上)	219	4088	510	2586	5385

表72 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と生後1か月時の体格

	生後1か月時の身長				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	199	53.6	2.3	47	60
Q2(17以上21未満)	177	53.6	2.0	48	58.2
Q3(21以上28未満)	246	53.3	2.2	48	59.6
Q4(28以上)	211	53.4	2.0	48.2	59

表73 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と生後1か月時の体格

	生後1か月時の胸囲				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	201	36.3	1.7	32	44
Q2(17以上21未満)	179	36.3	1.8	31	41
Q3(21以上28未満)	250	35.8	1.7	30	42
Q4(28以上)	215	35.9	2.0	31	47.2

表74 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と生後1か月時の体格

	生後1か月時の頭囲				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
Q1(17未満)	201	36.7	1.3	33	40
Q2(17以上21未満)	179	36.6	1.3	32	41
Q3(21以上28未満)	250	36.6	2.2	32	63.5
Q4(28以上)	215	36.7	1.6	30	48.4

表75 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と栄養方法

母乳					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上21未満)	Q3(21以上28未満)	Q4(28以上)	
与えている	157 (99%)	156 (100%)	124 (99%)	92 (99%)	529 (99%)
与えていない	2 (1%)	0 (0%)	1 (1%)	1 (1%)	4 (1%)
合計	159 (100%)	156 (100%)	125 (100%)	93 (100%)	533 (100%)

欠損値の度数 = 420

表76 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と栄養方法

人工乳					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上21未満)	Q3(21以上28未満)	Q4(28以上)	
与えている	86 (67%)	82 (63%)	66 (67%)	55 (63%)	289 (65%)
与えていない	43 (33%)	49 (37%)	33 (33%)	32 (37%)	157 (35%)
合計	129 (100%)	131 (100%)	99 (100%)	87 (100%)	446 (100%)

欠損値の度数 = 507

表77 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と乳児健診受診

乳児健診受診					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上21未満)	Q3(21以上28未満)	Q4(28以上)	
なし	54 (25%)	62 (25%)	58 (25%)	67 (28%)	241 (26%)
あり	162 (75%)	186 (75%)	172 (75%)	170 (72%)	690 (74%)
合計	216 (23%)	248 (27%)	230 (25%)	237 (25%)	931 (100%)

欠損値の度数 = 22

表78 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と乳児健診結果

乳児健診結果					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上21未満)	Q3(21以上28未満)	Q4(28以上)	
異常なし	147 (95%)	173 (96%)	167 (95%)	159 (94%)	646 (95%)
異常有り	8 (5%)	8 (4%)	9 (5%)	10 (6%)	35 (5%)
合計	155 (100%)	181 (100%)	176 (100%)	169 (100%)	681 (100%)

欠損値の度数 = 272

表79 ダイオキシン類(合計)(pg TEQ/g fat)と疾患の有無

疾患の有無					合計
	Q1(17未満)	Q2(17以上21未満)	Q3(21以上28未満)	Q4(28以上)	
なし	204 (97%)	238 (96%)	224 (97%)	225 (96%)	891 (96%)
あり	7 (3%)	9 (4%)	7 (3%)	10 (4%)	33 (4%)
合計	211 (100%)	247 (100%)	231 (100%)	235 (100%)	924 (100%)

欠損値の度数 = 29